キャラクター名
篝 結 （カガリ ユイ）

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ エグザイル	ワークス	FHエージェントB	カヴァー	派遣社員
オプショナル		年齢	23歳	性別	女性
覚醒	渇望	衝動	愛情	初期侵食率	31 %
出自	父親不在	経験	平凡への憧れ	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2		0			2
感覚	4	1	0			5
精神	1		1			2
社会	1		0			1

HP	26
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：<情報：FH>	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
トゥインクルフォール	ＲＣ	5r+1		+8		1+2+6+7、浸食値9、1シーン3回
グランド・ヴェイト	ＲＣ	5r+1		+3		1+2+8、浸蝕値5
グランド・クロス	ＲＣ	5r+1		+26		100↑、1+2+3+6+7、浸食値13、シナリオ3回
「甘く見ないでよね！」	ＲＣ	5r+1		+11		100↑、1+2+6+7、浸蝕値9、1シーン4回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
東雲 葵	P 憧憬	N 劣等感		
篝 糸（カガリ イト）	P 尊敬	N 憐憫		
小日向 美光（コヒナタ ミイヒ）	P 連帯感	N 悔悟		
クレナイ・ロマン	P 連帯感	N 脅威		
藍川 悠	P 連帯感	N 嫉妬		
キッドナップ	P 好奇心	N 猜疑心		
藍川 悠	P 連帯感	N 不安		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	1	2	メジャー	-	-	自動	-	
効果： クリティカル ーLV個								
光の手	1	2	メジャー	-	-	<RC>	-	
効果： 【RC】→【感覚】判定								
マスヴィジョン	2	4	メジャー	-	-	シンドローム	100↑	
効果： 攻撃力+LV×5,シナリオ3回								
スプリングシールド	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果： ガード値+10,1シーンにLV回								
光芒の疾走	2	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： 戦闘移動、1シーンLV回								
破壊の光	3	2	メジャー	視界	範囲（選択）	<RC>	-	
効果： 攻撃力+2,1シーンLV回								
滅びの光	2	3	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果： 攻撃力+LV×3								
光の弓	1	1	メジャー	視界	-	<RC>	-	
効果： 攻撃力+LV+2の射撃,同一エンゲージ不可								
異能の指先	1	3	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果： 記憶を読み取れる。								
ウサギの耳	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 遠い所の小さな音も聞こえる。								
効果：								
効果：								
効果：								

PC③クレナイ・ロマンをリーダーとするセルに所属するFHエージェント。普段は能力を隠し、一般人と同様に一介の派遣社員として働いている。（仕事モードのときは黒髪のウイッグ装着、仕事の丁寧さとどんな職場にも溶け込むコミュ力が評価されている。）
レネゲイド能力が目覚めたのは高校生の頃である。幼馴染の東雲葵もまた同時期に覚醒したが、優れた才能に加え努力によりその才能を忌憚なく発揮する葵に劣等感を覚えるようになった。UGNエージェントとなった葵からの勧誘を断ったのも、一つは対等になりたかった幼馴染に劣等感を覚えていることへの悔しさからである。（加えて、この頃から犯罪、非行に手を出し始めており、一般人との共生を目指すUGNに辟易していたということもある。）
葵と疎遠になった後、一度は荒れたが、現在は年齢と共に落ち着いてきている。FHのセルにいるのは、葵と会うことへの気まずさ、そして何よりも荒れてた頃の自分の面倒を見てくれたことへの感謝からである。
一人称は「あたし」（たまに「あーし」）。好きなものはピンクでかわいいきらきらしたもの。